

2018(平成 30)年度 学校評価

富士吉田市立看護専門学校



本校は、看護に必要な基礎的能力及び態度を修得し、心豊かな人間性と見識を養い、地域や社会に貢献できる人材を育成しています。また、学則第 32 条に基づき教育の充実を図り学校の目的及び社会的使命を達成するため学校における教育活動の状況について自ら点検及び評価しています。

次は 2018(平成 30)年度の学校評価です。

【 取り組みとその評価 1 】 円滑な学校運営を実施する

2018 年度は、総事業費 約 2 億 3,500 万円で学校運営をしました。開校から 23 年が経ち建物や各種機器等の経年劣化が進んでいるため、外壁の改修など施設の修繕や設備の保守に努めました。また、安全で快適な学習環境を目指すため、教室等の照明の LED 化、Wi-Fi の導入、AV 機器の充実などを行っています。その結果、学生満足度調査において「施設の設備について大変満足 26%・満足 65%(合計 91%)」でした。

2018 年度の入学者は 37 名でした。卒業者は 26 名で、県内の病院に 24 名、うち富士吉田市立病院に 7 名(29.1%)が就職し、2 名が助産専攻課程に進学しています。また、全学生 117 名のうち 1 年間の退学者は 8 名(6.9%)で、その主な理由は進路変更や学業不振、経済的な問題でした。

2018 年度は、入学者確保のために、オープンキャンパスやミニオープンキャンパスの開催、高校訪問、山梨県や業者主催の高校生への進路・進学相談への参加などの活動以外に、新たな入試形態の導入について検討しています。

【 取り組みとその評価 2 】 質の高い看護教育の充実を図る

本校は、1 年次から国家試験にむけての学習相談、個別の学習支援、試験の点数開示や一次返却による学習の振り返りなどを行っています。その結果、第 108 回看護師国家試験の受験者が全員合格し、10 年連続 100%(新卒者のみ 12 年連続)となりました。

学生満足度調査において、「カリキュラムについて大変満足 38%・満足 57%(合計 95%)」「講義について大変満足 33%・満足 62%(合計 95%)」「実習について大変満足 39%・満足 56%(合計 95%)」であり、満足度も高いです。

21 期生 3 年次生お別れ会(自治会主催)

2018 年度は空き時間を活用し、学習習慣の確立、学習時間の確保を目的に「学内学習」を時間割内に導入しました。その結果、学生は、その時間に関して「学習は効果的であった 58%・効果的でなかった 41%」で、「学校として取り組んでもらえると学習の定着になる」「仲間と一緒にだと学習しようとする気持ちを持つことができた」という意見がありました。しかし、「効果的でなかった」という意見もあるため、学生の状況をみながら継続していきたいと思えます。



本校は質の高い看護教育の充実を図るために、教員は学内外の研修を受講し学会などにも積極的に参加しています。また、研究活動も行い自己研鑽に努めています。